

第9回齋藤ゼミ議事録

2020/06/24 (水)

担当:池田

0. 連絡事項

- ・7/1 のゼミから夏合宿に向けた準備
- ・6/26 21:00～ オンライン 飲み会 spatialchat を使用予定

1. 朝イチ

濱岡:「コロナ接触確認アプリ 抑制には6割普及必要」

→感染者との接触を通知する政府主導のスマートフォン用「接触確認アプリ」の提供が19日始まった。感染者の早期発見など流行の第二派を防ぐ役割が期待されているが、感染拡大の抑制には6割近くが利用する必要があるとの研究報告もある。日本のアプリでは、位置情報は用いずBluetoothで利用者同士が接触した記録をやり取りする、データはスマホ内に留める、など利用者の不安を払拭するための対策をとっている。

3. 企業研究発表

企業: 楽天

担当: 池田 天野 平野

・基本情報

1997年(平成9年)2月7日創業

代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

資本金 205,924 百万円 (2019年12月31日現在)

従業員数単体: 7,288 名 連結: 20,053 名 (2019年12月31日現在)

・楽天経済圏

- ▶ライフシーンを幅広くカバーする利便性の高いサービスの提供
→エコシステム内への流入拡大、リピーター増加
- ▶複数サービスで共通のID
- ▶「楽天スーパーポイント」

・楽天市場

- ▶国内最大級のモール型ECサイト、国内での売り上げ927.1億円
- ▶楽天にそれぞれショップが出店する形をとるので、信頼性が高く正規品の購入が可能

・フィンテック

- ・楽天の売り上げ全体の4割近くを占める
- ・そのうち保険などは実店舗を持たないため、利益率が高い
- ・カード、銀行、証券をまたがって利用するクロスユーザーは前年同比+42.9%と金融事業内でのシナジー効果が期待できる

・ネットワーク仮想化

モバイルネットワークに用いられてきた専用の機器を、汎用のサーバーと、各機能の代わりにするソフトウェアに置き換えてしまうもの。楽天モバイルは、アンテナなど物理的な機器が必要な部分を除く、全てのネットワーク設備をNFVにした。

【メリット】

- ・専用ハードウェアから脱却し、大幅にコスト削減
- ・従来の基地局に比べシンプルな構成の基地局。建設・運用コストを削減。
- ・コアネットワークや無線ネットワークをソフトウェアの更新だけで4Gから5Gに迅速に移行することで早期に本格的な5Gの運用をスタート可能。

【デメリット、問題点】

- ・周波数を無断変更
- ・楽天回線を使用可能な地域が限定的
- ・楽天回線は電波が悪い。